

セッション	セッション名	役割	演題番号	氏名	演題名
大会長講演		座長		辻 貞俊	
大会長講演		演者	PL	赤松 直樹	持続可能なてんかん学
理事長講演		座長		安元 佐和	
理事長講演		演者	CL	川合 謙介	医療変革の時代における日本てんかん学会の現状と課題
特別講演 1		座長		赤松 直樹	
特別講演 1		演者	SL1	川原 尚行	究極の医療は戦争をしないこと、させないこと～スーダン内戦を経験して～
特別講演 2		座長		赤松 直樹	
特別講演 2		演者	SL2	Andrew Bleasel	Semiology of Focal Seizures
シンポジウム 1	小児神経科医によるVNS治療	座長		下野 九理子	
シンポジウム 1	小児神経科医によるVNS治療	座長		田村 健太郎	
シンポジウム 1	小児神経科医によるVNS治療	演者	SY1-1	下野 九理子	小児期発症てんかんにおける迷走神経刺激療法(VNS)
シンポジウム 1	小児神経科医によるVNS治療	演者	SY1-2	本田 涼子	VNS療法を患者や家族に受け入れてもらうには？
シンポジウム 1	小児神経科医によるVNS治療	演者	SY1-3	中川 裕康	北陸における小児神経科医が行う迷走神経刺激療法の現状
シンポジウム 1	小児神経科医によるVNS治療	演者	SY1-4	丸山 慎介	小児神経科医によるVNS治療 鹿児島県における取り組み
シンポジウム 1	小児神経科医によるVNS治療	演者	SY1-5	山本 貴道	本邦におけるVNS治療の現状と小児神経科医参入への期待
シンポジウム 3	てんかんと周期性不機嫌症	座長		渡邊 さつき	
シンポジウム 3	てんかんと周期性不機嫌症	座長		安元 眞吾	
シンポジウム 3	てんかんと周期性不機嫌症	演者	SY3-1	渡辺 裕貴	わたしの考える周期性不機嫌症
シンポジウム 3	てんかんと周期性不機嫌症	演者	SY3-3	吉野 相英	周期性不機嫌症から不快気分症へ
シンポジウム 4	知的発達症とてんかん：臨床場面での課題と対応	座長		原 広一郎	
シンポジウム 4	知的発達症とてんかん：臨床場面での課題と対応	座長		宮本 雄策	
シンポジウム 4	知的発達症とてんかん：臨床場面での課題と対応	演者	SY4-1	金村 英秋	小児の知的発達症とてんかん：円滑な移行医療を見据えて
シンポジウム 4	知的発達症とてんかん：臨床場面での課題と対応	演者	SY4-2	谷口 豪	神経発達症とてんかん：精神科ではどう対応しているか
シンポジウム 4	知的発達症とてんかん：臨床場面での課題と対応	演者	SY4-4	山崎 悦子	症例からふりかえる。何が治療を難しくさせたのか。
シンポジウム 5	てんかん発作症候学 ビデオケースセッション	座長		上原 平	
シンポジウム 5	てんかん発作症候学 ビデオケースセッション	演者	SY5-2	宇田 武弘	定位的頭蓋内脳波を行った後のビデオ脳波モニタリングで捕捉した弁蓋部
シンポジウム 5	てんかん発作症候学 ビデオケースセッション	演者	SY5-3	白石 秀明	てんかん発作症候学 ビデオケースセッション(小児疾患)
シンポジウム 5	てんかん発作症候学 ビデオケースセッション	演者	SY5-6	小林 勝哉	側頭葉画像変化を有する難治焦点てんかんの一例
シンポジウム 6	向精神薬と自動車運転 -エビデンスの社会実装-	座長		山田 了士	
シンポジウム 6	向精神薬と自動車運転 -エビデンスの社会実装-	座長		中林 哲夫	
シンポジウム 6	向精神薬と自動車運転 -エビデンスの社会実装-	演者	SY6-1	岩本 邦弘	向精神薬の影響を評価する自動車運転試験ガイドラインと新規運転評価系
シンポジウム 6	向精神薬と自動車運転 -エビデンスの社会実装-	演者	SY6-2	中林 哲夫	向精神薬が自動車運転に及ぼす影響を評価するための判定基準について
シンポジウム 6	向精神薬と自動車運転 -エビデンスの社会実装-	演者	SY6-3	河合 三穂子	抗てんかん発作薬と自動車運転に関するエビデンス
シンポジウム 6	向精神薬と自動車運転 -エビデンスの社会実装-	演者	SY6-4	渡邊 さつき	てんかん治療におけるリスクコミュニケーション
シンポジウム 7	高齢者てんかん診療-研究の現状と課題	座長		山野 光彦	
シンポジウム 7	高齢者てんかん診療-研究の現状と課題	座長		中野 美佐	
シンポジウム 7	高齢者てんかん診療-研究の現状と課題	演者	SY7-1	田中 章浩	高齢者てんかんの疫学
シンポジウム 7	高齢者てんかん診療-研究の現状と課題	演者	SY7-2	下竹 昭寛	自己免疫と高齢者てんかん
シンポジウム 7	高齢者てんかん診療-研究の現状と課題	演者	SY7-3	田中 智貴	脳卒中とてんかん
シンポジウム 7	高齢者てんかん診療-研究の現状と課題	演者	SY7-5	吉村 元	高齢者のてんかん重積状態
シンポジウム 8	てんかん診療における精神科医への期待	座長		原 恵子	
シンポジウム 8	てんかん診療における精神科医への期待	座長		谷口 豪	
シンポジウム 8	てんかん診療における精神科医への期待	演者	SY8-1	田村 健太郎	脳神経外科から精神科への期待
シンポジウム 8	てんかん診療における精神科医への期待	演者	SY8-2	白石 秀明	てんかん診療における精神科医への期待
シンポジウム 8	てんかん診療における精神科医への期待	演者	SY8-3	代田 悠一郎	脳神経内科医から精神科への期待
シンポジウム 8	てんかん診療における精神科医への期待	演者	SY8-4	谷口 豪	てんかん診療において精神科に期待される役割について
シンポジウム 8	てんかん診療における精神科医への期待	指定発言	SY8-5	古郡 規雄	指定発言
シンポジウム 9	てんかん外科治療と脳機能マッピング最前線	座長		貴島 晴彦	
シンポジウム 9	てんかん外科治療と脳機能マッピング最前線	演者	SY9-1	江夏 怜	頭蓋内電極による術前評価の実際
シンポジウム 9	てんかん外科治療と脳機能マッピング最前線	演者	SY9-3	菊池 隆幸	脳機能マッピングの最前線
シンポジウム 9	てんかん外科治療と脳機能マッピング最前線	演者	SY9-4	Hui Ming Khoo	深部電極による脳機能マッピングと切除手術
シンポジウム 10	てんかんセンターのない地域での診療連携	座長		小野 智憲	
シンポジウム 10	てんかんセンターのない地域での診療連携	演者	SY10-1	池田 ちづる	てんかんセンターのない地域での診療連携～小児科の立場から～
シンポジウム 10	てんかんセンターのない地域での診療連携	演者	SY10-2	今村 久司	単独専門医としての取り組み：福井県におけるてんかん診療の現場から
シンポジウム 10	てんかんセンターのない地域での診療連携	演者	SY10-3	高橋 章夫	医療資源の疎な地域でのてんかん診療連携：地域でてんかん診療拠点を立ち
シンポジウム 10	てんかんセンターのない地域での診療連携	演者	SY10-4	松田 浩幸	大分県におけるてんかん診療連携体制の整備とてんかん診療へのDX活用
シンポジウム 11	てんかんクリニックの運営の現状と課題	座長		川崎 淳	
シンポジウム 11	てんかんクリニックの運営の現状と課題	座長		池田 仁	
シンポジウム 11	てんかんクリニックの運営の現状と課題	演者	SY11-1	渡辺 雅子	てんかん専門クリニックを成功させるために
シンポジウム 11	てんかんクリニックの運営の現状と課題	演者	SY11-2	小出 泰道	てんかん専門クリニックを名乗るからには
シンポジウム 11	てんかんクリニックの運営の現状と課題	演者	SY11-3	久保田 英幹	定年前後の開業とコロナ禍
シンポジウム 11	てんかんクリニックの運営の現状と課題	演者	SY11-4	高尾 明	地域に根ざしたてんかん診療
シンポジウム 12	てんかんの遠隔診療	座長		山内 秀雄	
シンポジウム 12	てんかんの遠隔診療	演者	SY12-1	中里 信和	てんかん遠隔診療の光と影：12年の経験から
シンポジウム 12	てんかんの遠隔診療	演者	SY12-2	山内 秀雄	包括的てんかん専門医療施設へのオンライン診療導入の経験
シンポジウム 12	てんかんの遠隔診療	演者	SY12-3	中川 栄二	てんかん遠隔診療とてんかん地域診療連携体制整備事業
シンポジウム 13	てんかんの神経心理学的探究	座長		赤松 直樹	
シンポジウム 13	てんかんの神経心理学的探究	演者	SY13-1	山野 光彦	側頭葉てんかんの意思決定機構
シンポジウム 13	てんかんの神経心理学的探究	演者	SY13-2	田中 章浩	側頭葉てんかんの表情認知機能
シンポジウム 13	てんかんの神経心理学的探究	演者	SY13-3	元木 文子	てんかんの嗅覚機能障害の特徴
シンポジウム 14	てんかんと臨床心理：明日から役立つアプローチ	座長		岸本 百合	
シンポジウム 14	てんかんと臨床心理：明日から役立つアプローチ	座長		小玉 聡	
シンポジウム 14	てんかんと臨床心理：明日から役立つアプローチ	演者	SY14-1	笠井 良修	てんかん診療における心理検査の基本と解釈
シンポジウム 14	てんかんと臨床心理：明日から役立つアプローチ	演者	SY14-2	成田 有里	てんかん患児への心理支援
シンポジウム 14	てんかんと臨床心理：明日から役立つアプローチ	演者	SY14-3	岸本 百合	心理職からアプローチするてんかん患者への社会的支援
シンポジウム 14	てんかんと臨床心理：明日から役立つアプローチ	演者	SY14-4	小川 舞美	てんかん診療における臨床心理学：最近の話題
シンポジウム 15	てんかんと妊娠 最新情報とマネジメントの実際	座長		渡邊 さつき	
シンポジウム 15	てんかんと妊娠 最新情報とマネジメントの実際	演者	SY15-1	佐世 正勝	産婦人科からみたてんかん合併妊娠と出産
シンポジウム 15	てんかんと妊娠 最新情報とマネジメントの実際	演者	SY15-2	大谷 英之	てんかんの妊娠レジストリ研究
シンポジウム 15	てんかんと妊娠 最新情報とマネジメントの実際	演者	SY15-3	小出 泰道	妊娠可能年齢女性の抗てんかん発作薬治療の実際
シンポジウム 15	てんかんと妊娠 最新情報とマネジメントの実際	演者	SY15-5	大守 伊織	てんかん合併妊娠と葉酸
シンポジウム 16	SEEGの普及を目指して	座長		川合 謙介	
シンポジウム 16	SEEGの普及を目指して	座長		飯田 幸治	
シンポジウム 16	SEEGの普及を目指して	演者	SY16-1	飯村 康司	ROSA one Brain systemを用いた当科でのSEEGの成績と今後の展望
シンポジウム 16	SEEGの普及を目指して	演者	SY16-2	香川 幸太	手術支援ロボットを用いた定位的頭蓋内脳波(SEEG)初期16例の検討
シンポジウム 16	SEEGの普及を目指して	演者	SY16-3	久保田 有一	ロボット支援下SEEG導入により何が変わったか？

セッション	セッション名	役割	演題番号	氏名	演題名
シンポジウム 16	SEEGの普及を目指して	演者	SY16-4	白水 洋史	非ロボットガイドによるSEEGと定位熱凝固術
シンポジウム 17	てんかんの歴史と未来 レジデントからの提言	座長		花井 敏男	
シンポジウム 17	てんかんの歴史と未来 レジデントからの提言	座長		辻 真俊	
シンポジウム 17	てんかんの歴史と未来 レジデントからの提言	演者	SY17-1	田中 達也	The past, current and future of epilepsy surgery.
シンポジウム 17	てんかんの歴史と未来 レジデントからの提言	演者	SY17-2	黒川 徹	小児てんかんの臨床と研究を振り返って
シンポジウム 17	てんかんの歴史と未来 レジデントからの提言	演者	SY17-3	山内 俊雄	てんかんにまつわるスティグマとその解消に向けて
シンポジウム 18	てんかんのDBS治療	座長		木村 唯子	
シンポジウム 18	てんかんのDBS治療	演者	SY18-1	上利 崇	難治性てんかんに対する脳深部刺激療法-当院の経験から
シンポジウム 18	てんかんのDBS治療	演者	SY18-2	前澤 聡	てんかんに対する視床DBS治療のエビデンス
シンポジウム 18	てんかんのDBS治療	演者	SY18-3	谷 直樹	epilepsy DBSにおけるsensingとclosed-loop stimulationの可能性
シンポジウム 18	てんかんのDBS治療	演者	SY18-4	池谷 直樹	視床垂核とてんかんの臨床
シンポジウム 19	治療ガイドラインを超えて-抗てんかん薬第2選択薬-	座長		夏目 淳	
シンポジウム 19	治療ガイドラインを超えて-抗てんかん薬第2選択薬-	座長		重藤 寛史	
シンポジウム 19	治療ガイドラインを超えて-抗てんかん薬第2選択薬-	演者	SY19-1	遠山 潤	ファーストライン薬で発作抑制できないとき:小児科での工夫
シンポジウム 19	治療ガイドラインを超えて-抗てんかん薬第2選択薬-	演者	SY19-2	傳 和真	カルバマゼピンで発作抑制できないとき
シンポジウム 19	治療ガイドラインを超えて-抗てんかん薬第2選択薬-	演者	SY19-3	藤本 礼尚	レベチラセタムで発作抑制できないとき
シンポジウム 19	治療ガイドラインを超えて-抗てんかん薬第2選択薬-	演者	SY19-5	落合 卓	ファーストラインで薬で発作抑制出来ないときの薬の変更の仕方
シンポジウム 20	持続可能なてんかん医療のために:日本てんかん協会との協働	座長		梅本 里美	
シンポジウム 20	持続可能なてんかん医療のために:日本てんかん協会との協働	座長		山内 俊雄	
シンポジウム 20	持続可能なてんかん医療のために:日本てんかん協会との協働	演者	SY20-1	鶴澤 礼実	てんかん協会佐賀県支部長として15年間の小さな歩み
シンポジウム 20	持続可能なてんかん医療のために:日本てんかん協会との協働	演者	SY20-2	重藤 寛史	てんかん支援拠点病院:福岡県での取り組み
シンポジウム 20	持続可能なてんかん医療のために:日本てんかん協会との協働	演者	SY20-3	岡本 朗	てんかんのある人の地域での支援
シンポジウム 20	持続可能なてんかん医療のために:日本てんかん協会との協働	演者	SY20-4	藤川 真由	世界のてんかんアドボカシーと当事者支援
シンポジウム 20	持続可能なてんかん医療のために:日本てんかん協会との協働	演者	SY20-5	遠藤 翔馬	てんかんのある人からの日本てんかん学会への要望
シンポジウム 20	持続可能なてんかん医療のために:日本てんかん協会との協働	演者	SY20-6	田所 裕二	日本のてんかん運動の成果とこれからめざすもの
シンポジウム 21	一過性てんかん性健忘 (TEA) をめぐって	座長		伊藤 ますみ	
シンポジウム 21	一過性てんかん性健忘 (TEA) をめぐって	演者	SY21-1	川口 典彦	TEAの概念とその混乱
シンポジウム 21	一過性てんかん性健忘 (TEA) をめぐって	演者	SY21-2	上原 平	TEAの鑑別疾患:一過性全健忘 (TGA) を中心に
シンポジウム 21	一過性てんかん性健忘 (TEA) をめぐって	演者	SY21-3	音成 秀一郎	TEAの診断と治療
シンポジウム 21	一過性てんかん性健忘 (TEA) をめぐって	演者	SY21-4	齋藤 克行	TEAとTEACSでのてんかん学における位置づけ
シンポジウム 22	てんかん遺伝子研究と臨床	座長		廣瀬 伸一	
シンポジウム 22	てんかん遺伝子研究と臨床	演者	SY22-1	山川 和弘	ナトリウムチャネル遺伝子SCN2A変異によるてんかん・神経発達症発症メカ
シンポジウム 22	てんかん遺伝子研究と臨床	演者	SY22-2	加藤 光広	臨床におけるてんかんの遺伝子診断と今後の治療戦略
シンポジウム 22	てんかん遺伝子研究と臨床	演者	SY22-3	日暮 憲道	ILAEてんかん症候群2022における遺伝学的検査の意義と臨床アプローチ
シンポジウム 23	本当に治療が困難な精神科症例からみるてんかんの臨床	座長		辻 富基美	
シンポジウム 23	本当に治療が困難な精神科症例からみるてんかんの臨床	座長		伊藤 ますみ	
シンポジウム 23	本当に治療が困難な精神科症例からみるてんかんの臨床	演者	SY23-1	櫻井 高太郎	発作後精神病を疑い対応が遅れた抗NMDA受容体脳炎の一例
シンポジウム 23	本当に治療が困難な精神科症例からみるてんかんの臨床	演者	SY23-2	辻 富基美	身体疾患を伴ったてんかん性不機嫌症の対応から考える精神科臨床
シンポジウム 23	本当に治療が困難な精神科症例からみるてんかんの臨床	演者	SY23-3	西田 拓司	てんかん外科治療後の精神症状の対応と連携:重度のうつ病を示した症例
シンポジウム 23	本当に治療が困難な精神科症例からみるてんかんの臨床	演者	SY23-4	本岡 大直	回診の度に起こる(回診誘発性発作)は何発作?
教育講演 1		座長		藤本 礼尚	
教育講演 1		演者	EL1	黒田 直生人	海外留学のススメ-米国てんかん学研究和臨床の実際-
教育講演 2		座長		菊池 健二郎	
教育講演 2		演者	EL2	倉橋 宏和	代謝性疾患によるてんかんをどう診療するか
教育講演 3		座長		浜野 晋一郎	
教育講演 3		演者	EL3	渡辺 雅子	セカンドトランジション
教育講演 5		座長		曾根 大地	
教育講演 5		演者	EL5	倉持 泉	てんかんに関するスティグマと心理社会的支援の重要性
教育講演 6		座長		飛松 省三	
教育講演 6		演者	EL6	長峯 隆	脳波、脳磁場記録の比較からみたてんかん放電の電流源推定
教育講演 8		座長		前原 健寿	
教育講演 8		演者	EL8	白水 洋史	視床下部過誤腫-一笑い発作のメカニズムと診断・治療-
教育講演 10		座長		國枝 武治	
教育講演 10		演者	EL10	柿田 明美	てんかんの病理
教育講演 11		座長		藤井 正美	
教育講演 11		演者	EL11	飛松 省三	ここに目をつける! 脳波判読のコツ
教育講演 12		座長		岡田 元宏	
教育講演 12		演者	EL12	岩佐 博人	ここで向き合うてんかん臨床のシナリオ ~誰でもいつでもどこでも?
教育講演 13		座長		岩崎 俊之	
教育講演 13		演者	EL13	里 龍晴	小児の脳波
教育講演 14		座長		高橋 孝雄	
教育講演 14		演者	EL14	酒井 康成	自閉スペクトラム症とてんかんのトランスレーショナル研究
教育講演 17		座長		原 広一郎	
教育講演 17		演者	EL17	松浦 雅人	てんかんと文学
教育講演 18		座長		寺田 清人	
教育講演 18		演者	EL18	川崎 淳	てんかん外来診療の心得
教育講演 20		座長		小林 勝弘	
教育講演 20		演者	EL20	浜野 晋一郎	West症候群-I.ESSの診断と治療
教育講演 21		座長		松尾 宗明	
教育講演 21		演者	EL21	吉良 龍太郎	Lennox-Gastaut症候群の治療
教育講演 22		座長		安元 佐和	
教育講演 22		演者	EL22	藤田 貴子	自然終息性てんかんの臨床
教育講演 23		座長		山中 岳	
教育講演 23		演者	EL23	鳥巢 浩幸	急性脳炎とてんかん
教育講演 24		座長		伊藤 進	
教育講演 24		演者	EL24	青天目 信	ケトン食療法の原理と実際
教育講演 25		座長		林 雅晴	
教育講演 25		演者	EL25	福田 光成	前頭葉てんかんの発作症候~紛らわしい症候を呈する症例から学ぶ~
教育講演 26		座長		杉浦 嘉泰	
教育講演 26		演者	EL26	寺田 清人	若年ミオクローニーてんかん:診断のピットフォール
教育講演 27		座長		田所 ゆかり	
教育講演 27		演者	EL27	谷口 豪	PNES(心因性非てんかん発作)診療の基本:診断~病状説明まで
委員会企画 1	英文ジャーナル委員会	座長		岡西 徹	
委員会企画 1	英文ジャーナル委員会	座長		久保田 隆文	
委員会企画 1	英文ジャーナル委員会	演者	CP1-2	小山 哲男	学会英文誌の創刊からPubMed掲載、そしてIF獲得に向けて
委員会企画 1	英文ジャーナル委員会	演者	CP1-3	三國 信啓	日本脳神経外科学会機関誌編集委員長の経験

セッション	セッション名	役割	演題番号	氏名	演題名
委員会企画 1	英文ジャーナル委員会	演者	CP1-5	曾根 大地	Epilepsy & SeizureのPubMed収録のために、若手の医療者・研究者ができる
委員会企画 2	移行期医療検討委員会	座長		本田 涼子	
委員会企画 2	移行期医療検討委員会	座長		宮本 雄策	
委員会企画 2	移行期医療検討委員会	演者	CP2-1	油川 陽子	移行期医療に関するアンケート集計結果
委員会企画 2	移行期医療検討委員会	演者	CP2-2	最上 友紀子	大阪母子医療センターにおけるてんかん移行期医療
委員会企画 2	移行期医療検討委員会	演者	CP2-3	小出 泰道	てんかんクリニックにおける移行期医療
委員会企画 2	移行期医療検討委員会	演者	CP2-4	本田 涼子	移行期医療の現状と今後
日本てんかん学会・日本臨床	大麻取締法の改正とてんかん患者の医療および生活の質の向上について	座長		飯田 幸治	
日本てんかん学会・日本臨床	大麻取締法の改正とてんかん患者の医療および生活の質の向上について	座長		太組 一朗	
日本てんかん学会・日本臨床	大麻取締法の改正とてんかん患者の医療および生活の質の向上について	演者	CCL	秋野 公造	大麻取締法及び麻薬及び向精神薬取締法の一部改正について
ディベート 2	SUDEP リスクはすべての患者に説明すべきである	座長		溝淵 雅広	
ディベート 2	SUDEP リスクはすべての患者に説明すべきである	演者 (Pros)	DB2-1	高木 俊輔	SUDEPリスクはすべての患者に説明すべきである
ディベート 2	SUDEP リスクはすべての患者に説明すべきである	演者 (Con)	DB2-2	三枝 隆博	SUDEPリスクはすべての患者に説明すべきである
ディベート 3	精神科はてんかん診療から離れる時期にきている	座長		伊藤 ますみ	
ディベート 3	精神科はてんかん診療から離れる時期にきている	演者 (Pros)	DB3-1	曾根 大地	精神科はてんかん診療から離れる時期にきている: Pros
ディベート 3	精神科はてんかん診療から離れる時期にきている	演者 (Con)	DB3-2	岩城 弘隆	精神科はてんかん診療から離れる時期にきている
ディベート 4	良性成人家族性ミオクローヌスてんかんは良性である	座長		木下 真幸子	
ディベート 4	良性成人家族性ミオクローヌスてんかんは良性である	演者 (Pros)	DB4-1	池田 仁	良性成人家族性ミオクローヌスてんかんは良性である
ディベート 4	良性成人家族性ミオクローヌスてんかんは良性である	演者 (Con)	DB4-2	小林 勝哉	良性成人型家族性ミオクローヌスてんかんは加齢・老年期においては良性
ディベート 5	てんかん緩和治療 脳梁離断がデバイス治療より先である	座長		國枝 武治	
ディベート 5	てんかん緩和治療 脳梁離断がデバイス治療より先である	演者 (Pros)	DB5-1	本田 涼子	脳梁離断はデバイス治療よりも先に検討すべき
ディベート 5	てんかん緩和治療 脳梁離断がデバイス治療より先である	演者 (Con)	DB5-1	山本 貴道	デバイス治療が脳梁離断より先である
ランチョンセンナー 6		座長		中川 栄二	
ランチョンセンナー 6		演者	LS6	衛藤 薫	神経セロイドリポフスチン症の疾患概要・診断・治療について: 2型 (CLN2)
ランチョンセンナー 7		座長		赤松 直樹	
ランチョンセンナー 7		演者	LS7	上原 平	てんかん性放電の見分け方
ランチョンセンナー 9	ニューロメートで読む難治てんかんの外科治療 日本、英国の臨床の立場から	座長		前澤 聡	
ランチョンセンナー 9	ニューロメートで読む難治てんかんの外科治療 日本、英国の臨床の立場から	演者	LS9-1	石崎 友崇	ニューロメートで切り拓く定位的てんかん外科手術の未来
ランチョンセンナー 9	ニューロメートで読む難治てんかんの外科治療 日本、英国の臨床の立場から	演者	LS9-2	長谷川 治友	ニューロメートで繰り広げるてんかん外科の現状: イギリスの視点から
ランチョンセンナー 15		座長		重藤 寛史	
ランチョンセンナー 15		演者	LS15	上原 平	脳卒中関連てんかんの診断と治療